



自然林の多く残る台地の自然を利用してつくられた内牧公園内には、家族連れが楽しめるいくつもの広場があるが、この「竪穴式住居広場」もそのひとつである。

内牧地区には、縄文時代の遺跡が点在しており、かつてこの地に息づいていた古代の文化を後世に残し伝えていくために、象徴となる広場の整備が行われた。

周囲の散策路には自然石を敷き、広場の敷地は土をのぞかせており、竪穴式住居をモチーフにした四阿を設けて、古代文化をイメージさせる演出をしている。

また、土を掘り返して貝塚の形態を見ることができるようになっており、古代の人々の生活の一部を想像できるような配慮も行っており、公園を訪れた人々の興味を誘っている。

DATA・BOARD 34

- ① 埼玉県春日部市内牧3090
- ② 面積：広場 0.4ha (公園全体 10.4ha)
- ③ 竪穴式住居風四阿、散策路
- ④ 自然石、木材、擬木ほか

